

## ■事業の概要

### 1. 管理運営全般

#### (1) 理事会および評議員会の開催状況

令和4年度の理事会および評議員会は、次のとおり開催されました。

##### ア. 理事会

開催日	議事内容
令和4年4月1日	第1号議案 理事長の選任について 第2号議案 監事候補者の選出（案）について 第3号議案 法人本部長の選任（案）について 第4号議案 理事長職務代理者（案）について 第5号議案 理事の競業について 第6号議案 関西医療大学名誉教授の称号授与（案）について
令和4年5月28日	第1号議案 令和3年度事業報告（案）について 第2号議案 令和3年度収支決算（案）について 第3号議案 監事の監査報告
令和4年5月28日	第1号議案 関西医療大学大学院保健医療学研究科博士後期課程の設置構想について 第2号議案 学園規程の制定（案）について
令和4年8月27日	第1号議案 関西医療大学ならびに関西医療大学大学院学則の改正（案）について 第2号議案 関西医療学園規程の改正（案）について 第3号議案 令和3年度 関西医療大学ガバナンス・コードの遵守と取組状況に関する報告書（案）について
令和4年12月17日	第1号議案 令和4年度補正予算（案）について 第2号議案 関西医療大学大学院学則の改正（案）について
令和5年3月25日	第1号議案 令和5年度事業計画（案）について 第2号議案 令和5年度当初予算（案）について 第3号議案 学校法人関西医療学園中期計画＜2023年度～2027年度＞（案）について 第4号議案 特定公益増進法人の申請について 第5号議案 令和5年度役員賠償責任保険の継続について 第6号議案 関西医療大学大学院研究科長、大学保健医療学部長、大学保健看護学部長、大学図書館長および大学附属保健医療施設長の選任（案）について 第7号議案 関西医療大学規程の制定（案）について

## イ. 評議員会

開 催 日	議 事 内 容
令和 4年 4月 1日	第1号議案 理事の改選（案）について
令和 4年 4月 1日	第1号議案 監事の選任（案）について
令和 4年 5月28日	第1号議案 令和3年度事業報告（案）について 第2号議案 令和3年度収支決算（案）について 第3号議案 監事の監査報告 第4号議案 関西医療大学大学院保健医療学研究科博士後期課程の設置構想について
令和 4年 8月27日	第1号議案 関西医療大学ならびに関西医療大学大学院学則の改正（案）について 第2号議案 令和3年度 関西医療大学ガバナンス・コードの遵守と取組状況に関する報告書（案）について
令和 4年12月17日	第1号議案 令和 4年度補正予算（案）について 第2号議案 関西医療大学大学院学則の改正（案）について
令和 5年 3月25日	第1号議案 令和5年度事業計画（案）について 第2号議案 令和5年度当初予算（案）について 第3号議案 学校法人関西医療学園中期計画＜2023年度～2027年度＞（案）について 第4号議案 特定公益増進法人の申請について

## (2) 監査の実施状況

令和4年度においては、監事監査および監査法人による会計監査を次のとおり実施しております。

## ア. 監事監査

開 催 日	監 査 内 容
令和 4年 4月 1日	理事会・評議員会に出席
令和 4年 5月16日	令和3年度計算書類および財産目録（監査法人業務執行社員が同席）、理事の業務執行状況を確認
令和 4年 5月28日	理事会・評議員会に出席
令和 4年 8月27日	理事会・評議員会に出席
令和 4年11月14日	令和4年度上半期の予算の執行状況および理事の業務執行状況を監査
令和 4年12月17日	理事会・評議員会に出席
令和 5年 3月25日	理事会・評議員会に出席

## イ. 監査法人による会計監査

実施日	監査内容
令和 4年 4月 1日	現金等実査
令和 4年 4月28日	令和3年度計算書類（残高確認、収入支出関係、固定資産）
令和 4年 5月 2日	令和3年度計算書類（残高確認、収入支出関係、固定資産）
令和 4年 5月 9日	令和3年度計算書類（残高確認、収入支出関係、固定資産）
令和 4年 5月10日	令和3年度計算書類（残高確認、収入支出関係、固定資産）
令和 4年 8月 4日	令和4年度計算書類（監査計画）
令和 4年 9月14日	令和4年度計算書類（4月～7月度収入支出関係、固定資産）
令和 4年10月28日	令和4年度 前期支出・固定資産
令和 5年 1月25日	令和4年度 後期収入支出関係、固定資産
令和 5年 3月 3日	令和4年度 後期収入支出関係、固定資産
令和 5年 3月14日	令和4年度専門学校調査
令和 5年 3月23日	令和4年度 後期収入支出関係、固定資産

## ウ. 内部監査

実施日	監査内容
令和 4年 8月 9日	令和3年度科学研究費等公的資金の帳簿・証憑および各種申請書を監査（関西医療大学）
令和 4年 8月26日	令和3年度購入の歯科衛生学科設置備品の50万円以上の備品90点の現品調査（関西医療学園専門学校）
令和 4年11月15日	令和4年度科学研究費補助金の特別監査
令和 5年 2月14日	令和4年度科学研究費補助金の特別監査、令和4年度厚生労働省科学研究費補助金の特別監査

### (3) 将来構想検討委員会

将来構想検討委員会は、学園の将来を見据えた大学等の戦略を策定する場として機能しており、令和4年度は、関西医療大学大学院保健医療学研究科博士後期課程の設置構想について検討しました。また、大学において入学定員の未充足が続く学科の現状を改善するため、学生確保の強化を図る具体的な方策を検討しました。引き続き、学園が当面する諸問題等を検証し、将来構想についての検討を行っていきます。

＜将来構想検討委員会 開催状況 計6回＞

5月28日（土）、7月19日（火）、9月29日（木）、11月 1日（火）、11月17日（木）、12月15日（木）

## 2. 大学・大学院

### 【関西医療大学の3つのポリシー】

・「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」

関西医療大学は、建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を具現化するため、卒業認定に必要な所定の単位を修得し、医療人に求められる次の能力を身につけ、地域で医療を必

要とする人々への奉仕の精神を持ち続ける学生に対して、学部・学科ごとに、学士の学位を授与します。

1. 広い一般教養と、医療人としての高い倫理観に基づく実践力
2. 論理的な思考で問題解決できる能力
3. 医療人としての責任を自覚し、積極的に行動できる主体性
4. チーム医療の担い手として、多様な人々と協調・協働できる能力
5. 社会の要望に応えうる医療知識と技術

・「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」

関西医療大学は、大学全体および各学部・学科のディプロマ・ポリシーを満たし、建学の精神を実践する医療人を養成します。そのために、授業科目全体を、教養教育を行う総合教育科目と各学部・学科における専門教育科目に分け、学科ごとに、目指す医療資格の指定規則等の定めにより、学年進行に沿って各科目を体系的に配置した教育課程を編成します。この課程の実施により、学修効果を高め、医療人に求められる次の資質・能力を養成します。

1. 広い視野で社会の情報を収集し、問題を解決する能力
2. 社会に貢献できる、協調性とコミュニケーション能力
3. 高度な医学知識と技術を獲得できる思考力、判断力

・「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」

関西医療大学は、「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を建学の精神として、現代医学の進歩と社会の変化に対応できる能力を備えた医療人の養成を目的としています。本学では、医療専門職に必要な知識と技術、そして医療人としての幅広い教養と深い人間性を身につけ、将来にわたって、医療を通じて社会に貢献していきたいという強い意思を持つ次のような人たちを求めます。

1. 自ら学び、高い知識と技術で問題解決をしようとする人
2. 生命を尊び、病の痛みや苦しみを分かち合おうとする人
3. 保健・医療の場で貢献しようとする人

### 【関西医療大学大学院の3つのポリシー】

・「修士認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」

関西医療大学大学院は、建学の精神に基づき、所定の単位を修めて保健医療に関する学術理論と研究方法・技術を修得し、研究成果としての修士論文の審査に合格した次の資質・能力をもつ者に修士（保健医療学）の学位を授与します。

1. 保健医療分野の専門職としての高い倫理観に基づく実践力
2. 保健医療分野のリーダーとしての論理的思考力と問題発見・解決力
3. 保健医療分野のリーダーとしての責任感と主体的行動力
4. 保健医療分野の専門領域の発展に貢献できる研究力

・「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」

関西医療大学大学院は、教育課程の中に保健医療や医療倫理に関する幅広い知識を身につける共通教育科目、保健医療学分野における専門性を高めて高度専門職業人に必要な技術と知識を学ぶ専門教育科目、ならびに研究に関する基礎能力を修得する特別研究科目を体系的に配置して、保健医療分野のリーダーに求められる次の資質・能力を養成します。

1. 保健医療に携わる者に求められる高い倫理観と専門知識・技術
2. 広い視野に基づく情報収集力と問題発見・解決力
3. 保健医療分野の専門職としての高度な実践力
4. 論理的思考と科学的分析に基づく探究力と研究力

・「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」

関西医療大学大学院は、本学の建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を理解し、保健医療に関する基礎または臨床研究を通じて保健医療を科学化し学問体系を確立すること、ならびに高い倫理観と専門性を身につけて我が国の保健医療の発展に貢献することを目指す次のような熱意ある人たちを広く求めています。

1. 専門領域においてキャリアアップを図り、リーダーシップを発揮したい人
2. より高度で専門的な知識と技術を修得して保健医療に従事する意欲をもつ人
3. 保健医療分野における専門領域の第一線で活躍する研究者や教育者を目指したい人

(1) 学生募集、広報関係

学生募集活動については、感染対策を徹底した上でオープンキャンパスを午前と午後の2部制で参加者の分散を図りながら実施しました。春開催分を含めた来場者は、1,478人（付き添い者を除く）で、前年比では33%の増加となったものの、コロナ禍の影響を受ける前に比べると8割弱の接触にとどまりました。その他、高校内ガイダンスや進学イベントに274件参加するなど、対面での広報活動に臨みました。

また、動画作成や、冊子とWebコンテンツの追加を計画どおりに進めるとともに、マイページへの登録促進を図りました。

- a. 募集力強化のためのプロジェクトチームの編成
- b. 感染対策を講じたうえでの学生募集活動の実施
- c. SNS対応を含めたWeb広報の強化
- d. 高校教員ならびに高1・2年生向けの情報発信の強化

入学者選抜の実施については、志願者の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価することを基本方針として、必要な感染対策を講じて実施していきます。前年度からの大きな変更点はありますが、京都府北部地域の医療施設と連携した「公募制推薦選抜（地域枠）」の設定と、大学入学共通テスト利用選抜前期日程に数学と理科を必須科目とした「3科目数理利用型」を追加しました。

引き続き、入学後の状況に関する追跡調査や出願動向などの分析結果を踏まえて、入学生の質の確保をめざすとともに、個性ある多様な人材を受け入れること、能力・適性等を多面的に判定していくために入学者選抜の改革を推進していきます。

(2) 主な教育・研究の概要

ア. 行政庁への申請・届出等

ア) 学則変更

「大学運営会議」「教授会」「厚生および保健」「附属施設」についての学則変更および「大学運営会議」「教授会」「学長への委任」「厚生および保健」についての大学院学則変更を文部科学省大学設置室に届け出ました。

イ) 臨床検査学科の付加資格

令和4年4月末日が期限となる「第一種衛生管理者」の資格認定の廃止届を大阪府労働局へ提出する予定でしたが、認定が更新制である為、当該届出提出が不要となりました。

また、指定規則の改正に伴い、令和4年度入学生を対象とする教育課程を変更したため、「食品衛生管理者」および「食品衛生監視員」の資格認定に係る変更の届出を令和4年4月に大阪府へ提出しました。

ウ) 大学院保健医療学研究科 保健医療学専攻 博士後期課程の設置

大学院修士課程（2年）に加え、保健医療分野を主導できるより高度な資質と能力を備えた医療専門職を養成することを目的として、令和6年4月から博士後期課程（3年）を設置する

ため令和5年3月に文部科学省へ「研究科の専攻に係る課程の変更」に係る認可申請書類を提出しました。

## イ. 教育環境の整備

### 7) 保健医療学部

#### a. はり灸・スポーツトレーナー学科

平成30年度に改定したカリキュラムから4年が経過し、卒業生を輩出しましたので、教育効果等の検証を行い、令和6年度からのカリキュラム改定に向けての検討を始めました。

アスレティックトレーナー資格については、スポーツトレーナーとしての知識の修得はもちろん、教材の更新を含めて現場実習を充実させ、難関である日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格試験の合格率向上を目指しました。

・令和4年度アスレティックトレーナー試験合格率

新卒 学科試験：21.4% (3/14人)、実技試験：3名受験 (結果待ち)

既卒 学科試験：75.0% (3/4人)、実技試験：3名受験 (結果待ち)

#### b. 理学療法学科

令和2度に改定したカリキュラムを申請に基づき確実に履行するほか、引き続き国家試験対策を強化し、「臨床実習は学内教育の体験学習である」という教育理念の実現のため、外部施設の臨床実習指導者の調整を進めるなど、教育環境のより一層の整備を行いました。

なお、指定規則で定められた、実習指導者講習会を本学主催でオンライン (Zoom) 開催しました。その他、保健看護学科、作業療法学科に続き、ネイティブ講師による英語授業を2年生でも開始しました。

なお、令和6年度からのカリキュラム改定に向けての検討を始めました。

#### c. 作業療法学科

平成30年度の設置申請の完成年度を迎え、令和4年度は引き続き、令和2年度のカリキュラム改定の申請内容を確実に履行するほか、必要な教具・教材等の整備を行いました。また、安定した臨床実習施設の確保のため、実習指導者調整会を充実させて、実習施設との打ち合わせや調整を十分に行うなどして、教育環境・体制の整備を行いました。

また、国際リハビリテーション各論 (2年生) において、2週間の海外研修を通じて諸外国のリハビリテーション病院で見学実習などを行うことを目的とする台湾短期留学実習を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年と同様に中止となりました。しかし、オンライン (Zoom) で義守大学 (台湾) の学生とコミュニケーションを図りました。

なお、令和6年度からのカリキュラム改定に向けての検討を始めました。

#### d. ヘルスプロモーション整備学科

平成30年度に改定したカリキュラムから4年が経過し、卒業生を輩出しましたので、教育効果等の検証を行い、令和6年度からのカリキュラム改定に向けての検討を始めました。

なお、本学科においてもアスレティックトレーナー資格取得の導入に向け、はり灸・スポーツトレーナー学科の協力のもとで検討を行っています。

#### e. 臨床検査学科

学生にとってより魅力的な教育を行うため、令和元年度から開始した細胞検査士養成の教育を推進し、令和5年度は細胞検査士資格認定試験において細胞検査士養成課程受講者3名中2名が合格しました。その他、国家試験に向けた対策を強化するなど、教育の充実を図りました。

### 1) 保健看護学部

#### a. 保健看護学科

令和元年度には、学生の就職後に有益となる教育を行うために電子カルテ等のシステムを導入しましたが、引き続き、教材の更新や学生増に対応した追加購入、国家試験対策の強化など、教育環境のより一層の充実を図りました。

## ウ) 大学院

### ア) 保健医療学研究科

大学院の学生に対して、指導教員はもちろん、指導教員が所属する研究ユニット全体で研究を指導しており、1年生による研究計画発表会の開催を開始するなど、大学院教育研究活動のより一層の充実を図りました。新入生には新たにパソコンを購入して在学中貸与するなど修学支援を行っていました。また、修了式において、新設した優秀論文賞を表彰しました。

### イ) 体育館設備の充実

体育授業、健康運動実践指導者教育等で使用するための機器が老朽化しており、修理・更新等を行い、学生の安全の確保、教育環境の整備を図りました。

### エ) 3つのポリシーの点検

本学は、大学全体・各学部・各学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定めてホームページ等により公表していますが、学外の視点を取り入れた点検を行いました。

### ロ) 遠隔授業の実施に伴う ICT 環境の充実

令和4年度は全面的に対面授業を実施する方針で授業を開始し、コロナ禍にも迅速に対応できるよう、学部および大学院では遠隔授業（同時双方向型・オンデマンド型）の準備も継続して行いました。遠隔授業における出席確認、レポート提出、習熟度の把握およびオンデマンド授業の動画配信等の効率化を図るため、導入した学習管理システム（Moodle）と動画配信システム（CLEVAS）の更なる充実を進めました。また、学生に大学ドメインのメールアドレスを付与して遠隔授業のシステム認証に利用するほか、統一ドメインによるメール管理で学生と教員および事務間の情報通信の安定化を図り、遠隔授業の受講環境を充実させました。

### ハ) 学修成果発表会の開催

学生主体の学修成果の発表により個々の勉学に対する追求心の向上と学科間の交流を図ることを目的として、例年9月に学修成果発表会を開催していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としました。令和4年度は開催形式を再考した上で学生主導での実施を検討しましたが、学生の意見を踏まえた協議の結果、今年度も中止することとなりました。

### ニ) 教育研究・学修支援センター

令和4年度に設置した教育研究・学修支援センターの活動を推進し、学生の学修を様々な側面から支援して充実させていきます。

## ウ. 学生サービスの充実

### ア) 特待生制度

以下の通り、成績が優秀な学生を特待生として採用し、新入生については年額100万円、2年生～4年生については年額40万円の学費減免を行いました。

ア. 新入生については、入学試験の成績上位から、各学科の入学定員の10%の人数を上限として特待生を採用します。ただし、各学科1名ずつを公募制推薦I期2科目型受験の入学者から、その他は一般入試前期日程3科目型受験の合格者から採用しました。

その結果、採用者数は以下の通りとなりました。

はり灸・スポーツトレーナー学科 2名

理学療法学科 3名

作業療法学科 0名  
ヘルスプロモーション整復学科 0名  
臨床検査学科 4名  
保健看護学科 3名

b. 2年生～4年生については、年度ごと、学科ごとに、前年度の成績上位者から、入学定員60人までの学科は3人、60人を超える学科はその超える数が20人までを増すごとに1人を加えた人数を特待生として採用します。ただし、学年毎に定員を満たしていない学科については、在学生数に応じて採用数を減じます。その結果、第2～4年次生の採用者数合計は以下の通りとなりました。

はり灸・スポーツトレーナー学科 7名  
理学療法学科 9名  
作業療法学科 7名  
ヘルスプロモーション整復学科 6名  
臨床検査学科 9名  
保健看護学科 15名

#### イ) 学園貸与奨学金制度

月額3万円を貸与している関西医療学園奨学金については、修学支援制度の充実等で希望者が減少しているため、新規採用の募集を停止し、継続者3名に継続して貸与しました。

#### ウ) 通学バスのダイヤの見直し等

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で登校者数は減少しましたが、密を避けたため契約上の便数より増便となりました。また時間割に合わせた急行便を増設するなど、南海ウイングバスの協力を仰ぎ、対応しました。

なお、平成29年度から実施している毎朝の通学時間帯の乗車指導を引き続き行っています。

#### エ. 科目ナンバリング・カリキュラムマップの点検

平成27年度に全ての科目に科目ナンバリングを付して学科ごとに科目の体系化を行い、また、カリキュラムポリシーと科目ナンバリングに基づく各科目の位置づけについてカリキュラムマップを作成することで可視化しました。令和3年度には本学のディプロマポリシーと科目履修との関係性をカリキュラムマトリクスとして整理しました。令和4年度も引き続き、学修のしくみを説明するこれらのツールの点検を行い、カリキュラム改定が実施される学科については、必要に応じて見直しを行いました。

#### オ. 学修成果の可視化

平成29年度より、学生の履修科目の成績に基づいて学修成果を可視化するしくみを整備して、学科のカリキュラム編成と学生が身につける行動特性や能力（コンピテンシー）の到達度の関係などを視覚的に示し、学科の教育や学生の学修状況の改善と向上に役立てています。令和3年度からは卒業生に対して個人の学修成果を記したディプロマ・サプリメント（学位証書補足資料）を発行する取組みを開始しました。令和4年度もこれらの取組みを継続し、学修成果の可視化と教育の質の保証を図りました。

#### カ. 進路支援

学生に対するキャリア支援体制として、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、学科単位でのキャリア教育やキャリア支援イベントの開催を対面とオンラインの両面で行いました。

保健看護学科、臨床検査学科及び理学療法学科においては、コロナ禍も影響し、第一希望への



就職、さらに学科によっては実習施設への就職が厳しくなっています。さらに近年、多様化される採用試験に対応する為、履歴書の作成方法や添削、面接対策セミナーについては、メールやオンラインを活用するなど充実化を図りました。

特に模擬面接については、コロナにより全学科において就職活動が厳しくなったこともあり、不安を抱えた学生の対応件数が大幅に増加した為、その対応として、従来のハローワーク専門員の担当日数の増加に加え、地域のシルバー人材センターからの担当者の派遣等を活用し学生からの需要に応えました。

各学科（資格）の求人データの整備については、大学（教学部）で導入している基幹システムの活用により、卒業生から情報収集した、学生が就職活動する際に必要となる求人先の面接設問事項を含めた採用試験情報を蓄積しており、閲覧サービスを向上させています。

さらに、一部の学科で公務員（警察官、消防士）や一般企業へ就職を希望する学生が徐々に増加しており、ハローワークから専門員を定期的に本学に招くなど、就職の情報提供や対策等についてサポートできるように体制を整備しました。作業療法学科については、一期生を輩出した昨年度同様に同系となる理学療法学科を参考に求人施設の開拓と就職活動に備えたイベントを開催しました。

本年度においても令和3年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、早期でのオンラインを活用した模擬面談・指導等で学生支援を行うことができました。

## 7) キャリア支援相談・指導

全学科3年生に配付していた「就活支援ブック（市販版）」について、後期末に開催する各学科のスタートアップ講座の時間内で説明を行い、配布方法も「紙媒体」から「アプリ」へ変更し利便性が向上しました。

### 1) キャリア支援イベント

継続するコロナ禍において、各学科とキャリア支援課でイベントの実施方法を工夫し、状況や必要に応じて外部講師および学科教員による講座をオンラインと対面を組み合わせで行いました。

#### a. 学内就職説明会

学生にとって就職先の選択に直結することになる「学内就職説明会」について、令和4年度は以下のとおり開催した。

[はり灸・スポーツトレーナー学科／ヘルスプロモーション整備学科]

例年2学科については合同で開催しています。平成29年度より開催している「関西鍼灸系4大学間連携協議会就職説明会」について、令和4年度は6月にオンラインで実施しました。例年、本学で実施してきた合同就職説明会については9月に参加施設を絞って対面で実施し、計2回実施しました。

[理学療法学科／作業療法学科／保健看護学科]

例年実施してきた3学科の学内就職説明会について、令和4年度は実習施設を確保・維持するため、参加をお願いする施設を各学科の実習施設に限定して実施しました。

作業療法学科については、8月上旬に学外施設（スターゲイトホテル関西エアポート）にて、初めて対面で実施しました。

理学療法学科については8月中旬、保健看護学科については3月上旬にオンラインで実施しました。

#### b. 卒業生と語る会・特別講義

就職先選択の情報として学生に活用してもらうため、各学科の卒業生を招き、在学生に実際の現場での状況を語ってもらう「卒業生と語る会」、その道で活躍している方をお招きしでの「特別講義」を実施しています。

臨床検査学科が4月・12月、ヘルスプロモーション整備学科が5月・11月、作業療法学

科が9・12月に、保健看護学科の保健師課程は5月・9月、はり灸・スポーツトレーナー学科は10月、はり灸・スポーツトレーナー学科は10月にいずれも対面で実施しました。理学療法学科が8月、保健看護学科の看護師・助産師については11月・3月にオンラインで実施しました。

#### c. キャリア支援ミニ講義

例年全ての学生が参加しやすい昼の休憩時間を利用して実施していましたが、コロナ禍の中では方法・時間等を制限せず、各学科で内容を工夫して実施しました。令和4年度も令和3年度を踏襲し、方法・時間を限定せず学科ごとに実施しました。

#### d. キャリア教育

各学科で専門分野のキャリア教育を継続して行いますが、これと併行して、学生の進路希望が多様化していることを踏まえた一般的なキャリア教育についても、キャリア支援委員会およびキャリア支援課で、その内容を検討し実施しました。

低学年から職業観の醸成を目的とした「社会人基礎力講座（はり・スポ1年生）」、「ライフデザインキャリアセミナー（はり・スポ2年生）」、インターンシップ実習に備えた「コミュニケーション研修」および「マナー研修」、卒業直前の4年生には自身の職業と人生とを結び付けて考える「マナー&マナー講座（看護4年生）」などを実施しました。

学科（資格）ごとに、「スタートアップ講座」として、病院選びやその職種での就職活動スケジュール、さらに求められる人材などについての講座を開講しました。

【令和4年度 キャリア支援イベント実施状況】

#### ■開催済み

##### ①キャリア支援ミニ講義（7回）

はり灸・スポーツトレーナー学科(3回)、理学療法学科、ヘルスプロモーション整復学科、臨床検査学科、作業療法学科

##### ②卒業生と語る会（10回）

はり灸・スポーツトレーナー学科(2回)、理学療法学科、ヘルスプロモーション整復学科、臨床検査学科(2回)、保健看護学科（保健師(2回)・助産師・看護師）、作業療法学科

##### ③キャリア教育(39回)※全学科を通して

##### ④内部進学説明会(1回)

##### ⑤ハローワーク相談会(32回)

【4月7回、5月6回、6月3回、7月2回、8月2回、9月6回、10月4回、3月2回】

##### ⑥就職活動用写真撮影(5回)（全学科）

##### ⑦特別講義（4回）

はり灸・スポーツトレーナー学科（1回）、理学療法学科（1回）、作業療法学科（1回）  
保健看護学科（1回）

#### ウ) 求人先の開拓

全学科にわたり数年前から継続して、求人先確保と本学知名度の向上を踏まえ、卒業生の入職先や採用試験を受験した施設へのキャリア支援課員の訪問を実施しています。本年もコロナ禍のため年度当初の計画どおりには行えませんでした。状況が落ち着いた時期に実施しました。

また、本学に寄せられる全職種の求人件数は今年度減少傾向にありましたが、学生の就職希望者に対して十分な件数を確保しています。様々な地域へのUターン・Iターン就職希望者に対しても必要な情報を提供できるよう、進路個人面談および進路調査票のデータを基に、学園OBの情報を積極的に収集し求人確保に努めました。

はり灸・スポーツトレーナー学科およびヘルスプロモーション整復学科の学生の中で、デイ

サービス施設や福祉関連施設、一般企業への進路希望者が増加することが予想されるため、その分野での求人開拓も行いました。また、トレーナー現場での就職を強く希望する学生に対応するため、実業団やクラブチームで活躍している卒業生に対して、求人に係わる情報提供を積極的に求めました。

【令和4年度卒業生 進路状況】

(令和5年3月31日現在)

学 科 名	卒業生 (3月末 卒業含む)	就職 希望者	進路決定者		未定者	その他
			就職 決定者	進学者		
はり灸・スポーツトレーナー学科	34名	30名	28名	—	2名	4名
理学療法学科	56名	56名	56名	—	—	—
作業療法学科	40名	38名	38名	1名	—	1名
ヘルスプロモーション整復学科	32名	21名	21(2)名	5名	—	6名
臨床検査学科	68名	64名	64(1)名	1名	—	3名
保健看護学科	97名	91名	90名	2名	1名	4名
大学院保健医療学研究科	12名	12名	10名	—	2名	—
計	339名	312名	307名	9名	5名	18名

\*その他：国家試験受験準備者および非就職希望者

\*就職決定者の（ ）内は起業または開業者

[主な就職先（令和4年度卒業）]

- はり灸・スポーツトレーナー学科  
 (株)N-Labo、銀座 HARICCHI、(株)SYNERGY JAPAN、(有)スマイルストーリー、(株)GODHAND、  
 (株)ハイレン、(株)エルフレッチェ、群馬ダイヤモンドペガサス、消防士（大阪市）
- 理学療法学科  
 岸和田平成病院、京都田辺中央病院、京都田辺記念病院、社会医療法人三和会、桜ヶ丘病  
 院、日野病院、堺平成病院、貴志川リハビリテーション病院、株式会社せいき
- 作業療法学科  
 地方独立行政法人大阪府立病院機構、青山病院、秋津鴻池病院（精神科）、泉佐野優人会  
 病院、NPO 法人ロッツ、河西田村病院、貴志川リハビリテーション病院、岸和田リハビリ  
 テーション病院、北出病院、紀和病院、清恵会三宝病院、堺平成病院、サルビアジュニア、  
 角谷リハビリテーション病院、ChicoBote、中谷病院、八尾はあとふる病院、馬場記念病  
 院、日野病院、府中病院、藤民病院、伏虎リハビリテーション病院、ベルピアノ病院、森  
 之宮病院、りんくう永山病院、リニエ訪問看護ステーション四ツ橋、和歌山県立医科大学  
 附属病院
- ヘルスプロモーション整復学科  
 iCure テクノロジー(株)、(株)あいグループ、(株)J-RADIANCE、(株)complieat、  
 (株)あつ晴
- 臨床検査学科  
 大阪府立病院機構、大阪医科薬科大学病院、近畿大学病院、りんくう総合医療センター、  
 岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会病院、奈良県立病院機構、生駒市立病院、和歌山県（保健  
 所）、日本赤十字社和歌山医療センター、和歌山県立医科大学附属病院、海南医療センタ  
 ー、加古川市民病院、株式会社 LSI メディエンス、(株)ファルコバイオシステムズ、(株)

メディック、(株)日本光電

● 保健看護学科

(看護師) 大阪急性期・総合医療センター、大阪国際がんセンター、大阪はびきの医療センター、和泉市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、市立岸和田市民病院、りんくう総合医療センター、和歌山労災病院、日本生命病院、阪南市民病院、久米田病院、浜寺病院、東京小児療育病院、兵庫県立病院、松阪市民病院、柏厚生病院、淀川キリスト教病院、北野病院、住友病院

(保健師) 和歌山県、大阪市、堺市、貝塚市、富田林市、阪南市、忠岡町

(助産師) 大阪母子医療センター、ベルランド総合病院、日本赤十字社和歌山医療センター  
耳原総合病院、中国中央病院

## キ. 図書館

図書については、通常、医療系の資料を中心に計画的に購入し、併せて収集の計画が進められている SDG s (持続可能な開発目標) やリベラルアーツに関わる図書についても購入しました。これらは引き続き令和5年度も購入していく予定です。加えて関連図書の寄贈を受けたことから、図書委員会での協議を経て、選定・受入を開始し、ラーニングコモンズや学生ホールにて学生に向けて紹介する掲示を行いました。貴重資料については、図書委員会での協議した計画を基に11月21日(月)から12月9日(金)の期間、『経穴彙解』の展示を実施しました。また、リベラルアーツコーナーなどの展示スペースの展示替えも継続的に行っています。

書架の狭隘化への対策としては、例年通り計画的な除籍を行っています。図書委員会での協議の結果、令和3年度選定分の資料の除籍が決定し、データおよび現物の処理を開始しました。また、来年度に向けて新たな除籍検討資料を選定し、各学科図書委員を通じて内容確認を行っています。

データベースについては、学科から要望のあったデータベース「SPORTDiscus with Full Text」を4月に新規導入しました。データベースのさらなる利用推進を目的に、図書委員会での協議を行い、データベースの利用が見込まれる授業担当の教員に対し利用周知の協力依頼を行いました。

## ク. 研究

### ア) 研究体制

大学内に研究領域ごとの研究ユニットを組織して、各研究ユニット長が共同研究推進委員を兼ね、定期的で開催される同委員会において、各研究ユニット間の情報交換、今後の研究計画等について協議しました。学外からの共同研究希望者に対しては、研究員ならびに準研究員として門戸を広げ、緊密に連携できる研究体制を整えました。令和4年度の研究ユニットは、各研究分野の多様性を重視して、次の13ユニットで活動しました。

ユニット名：鍼灸学ユニット、スポーツトレーナー学ユニット、ヘルスプロモーション・整備学ユニット、理学療法学ユニット、作業療法学ユニット、基礎看護学ユニット、臨床看護学ユニット、生涯発達看護学ユニット、地域老年看護学ユニット。人文・自然科学ユニット、(基礎医学ユニット付表 研究ユニット)、臨床医学ユニット

### イ) 研究倫理

近年、研究不正行為や研究費の不正使用が後を絶たず、文部科学省では平成26年度に「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(令和3年2月1日改正)」ならびに「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン(平成26年8月26日制定)」を改正ならびに制定し、研究機関において倫理教育の実施が求められています。

令和4年度も昨年度に引き続き、研究倫理教育研修会およびコンプライアンス教育研修会を、以下のとおりオンライン研修を実施いたしました。

研究倫理教育研修会を当日受講できなかった者は、後日収録動画を視聴し全員が研修会を受講しました。

#### <研究倫理教育研修会>

日 時 令和 5年 3月 2日 (木) 13時00分 ~ 14時00分  
研修内容 『研究公正を考える ~研究倫理研修は何を目指すべきか~』  
講 師 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 岡林浩嗣 氏

#### <コンプライアンス教育研修会>

研修期間 令和 5年 1月18日 (水) ~ 3月31日 (金)  
研修内容 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン (実施基準)」の改正について  
研修方法 文部科学省のガイドライン改正に関する説明動画の視聴

### ウ) 研究活動

研究活動のうち、ヒトを対象とした臨床試験・臨床研究は大学附属保健医療施設 (診療所、鍼灸治療所、接骨院) ならびに臨床・基礎系の各研究ユニットをはじめとする研究環境の中で行われ、動物実験などの基礎研究は実験動物センターを中心に基礎医学ユニットで行われています。ヒトについての臨床研究は、人権擁護および個人情報保護の見地から、倫理委員会においてその倫理性と科学的妥当性について審査されました。動物実験については、動物愛護に関する倫理性ならびに感染症防止ならびに遺伝子保護について、動物実験委員会において審査され、また、遺伝子組換え実験に関する安全性については、遺伝子組換え実験等安全委員会でも審査されています。

産学協同研究については、企業との適切な連携の在り方 (知的財産権、資金運用、利益相反など) が産学連携委員会で審議され、契約の履行についても指導・管理が行われました。

### イ) 学内競争的資金の配分

一般共同研究費については、平成27年度から、

- ①教授ならびに准教授に配分される個人研究費のうち一部を、一般共同研究費に移管する。
- ②一般共同研究費のうち学内競争的資金については、科学研究費へ申請しその審査結果等をもとに学長が配分する。
- ③学内競争的資金については、研究計画申請はユニット単位とする。
- ④学内競争的資金については、科学研究費が不採択だった研究計画を申請条件とし、申請には統一された書式を用いる。
- ⑤学内競争的資金については、科学研究費の審査結果評価点数上位2~3研究の所属ユニットへ傾斜配分する。
- ⑥今年度に学内競争的資金が配分された研究ユニットは次年度の申請を行わない。
- ⑦科学研究費が採択された研究には一般共同研究費から所属ユニットおよび個人研究費へ科学研究費間接経費3分の1相当額を各々補助する。
- ⑧新たに大学院生を指導する教員が所属するユニットへ、一般共同研究費から1人あたりの一定額を研究費として補助する。

という方式に従って、各研究ユニットから提出された共同研究計画申請 (2件、申請総額3,000千円) を審査した結果、人文・自然科学ユニットに1,500千円、理学療法学ユニット1,500千円を配分しました。

教育研究費については、該当はありませんでした。

さらに、令和4年度科学研究費採択課題補填として、科学研究費新規採択者および継続者に対し970千円、ヘルスプロモーション・整備学ユニットに10千円、理学療法学ユニットに110千円、基礎医学ユニットに25千円、臨床検査学ユニットに200千円、作業療法学ユニットに625千円を配分しました。

さらに、大学院生を指導する所属ユニットへの補填として、鍼灸学ユニット(大学院生4名)には400千円、スポーツトレーナー学ユニット(大学院生1名)には100千円、理学療法学ユニット(大学院生8名)には800千円、ヘルスプロモーション・整復学ユニット(大学院生1名)には100千円、人文・自然科学ユニット(大学院生1名)には100千円、作業療法学ユニット(大学院生1名)には100千円、臨床検査学ユニット(大学院生3名)には300千円を配分しました。

一方、若手研究者による研究実践を奨励するために、令和4年度も奨励研究計画申請を学内から募集した結果、4件の申請(申請総額774千円)があり、検討した結果、4件に総額774千円を配分しました。

## カ) 外部資金の獲得

### ①文部科学省・日本学術振興会 科学研究費補助金

令和4年度の受領件数は、研究代表者としては新規採択3件(令和4年度配分額計3,900千円[直接経費・間接経費の合計、以下同じ])、継続11件(令和4年度配分額計10,010千円)、また、研究分担者として、他大学からの受領件数は、新規・継続合わせて13件(令和4年度配分額計1,625千円)となり、科学研究費補助金受入合計は27件(令和4年度受領額計15,535千円)です。

### ②厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)

令和4年度の受領件数は、分担研究者として1件(配分額計700千円)です。

## カ) その他

### ①研究交流会の開催

平成19年度より、若手研究者と大学院生の研究活動支援のため、研究交流会を開催しています。平成20年度から共同研究施設の正式な研究教育活動に組み入れ、平成22年度からは共同研究推進委員会が運営しています。なお、外部講師招聘に関わる経費については、内規を定め研究室運営費から助成しています。なお、本年度も研究交流会は開催していません。ユニット勉強会は今までに12回(4月2回、5月2回、6月1回、8月1回、9月1回、10月1回、11月1回、12月1回、2月1回、3月1回)開催しました。

### ②研究活動報告書

毎年度、標記報告書を作成しています。平成22年度分からは「関西医療大学 紀要」に掲載することとしており、令和4年度分は「関西医療大学 紀要VOL17」に掲載予定です。

## ケ. 施設・設備の整備・補修等

### ア) 1号館南側・5号館西側及び南側の壁面タイル等の打診等調査及び修繕工事

1号館南側・5号館西側及び南側において漏水が見受けられたため、壁面タイルやコンクリート面等について打診等調査を行い、その調査結果に基づいて修繕工事を行いました。

### イ) 1号館・2号館・3号館・5号館の非常灯・誘導灯の更新工事

1号館・2号館・3号館・5号館の非常灯・誘導灯について、経年劣化による電源・バッテリー切れ等があり、緊急時の安全確保のため、更新工事を行いました。

### ウ) 4号館6階 第2ADL実習室改修工事

カリキュラム変更に伴う対応及び実習環境の充実を図るため、4号館6階 第2ADL実習室の台所ユニット(車いす用)の設置が必要となったことから、設置工事を行いました。また、その設置に伴って、実習室の床・壁・配管類について一部改修工事を行いました。

### エ) クラウドサーバー・事務サーバーの更新

現在利用しているクラウドサーバーについて、OSサポート期限が迫っていたため、更新を行いました。また、事務サーバーについても、経年劣化による故障警告ランプが点灯していたため、更新を行いました。

### オ) 老朽化したプロジェクターの更新

微生物系実習室、化学系実習室およびC601 第一看護実習室では、現在設置しているプロジ

ェクターが老朽化と保証期間終了による修理不可のため、新たな機種に更新します。

#### カ) 印刷機の更新

ヘルスプロモーション整復学科教員室のオルフィス（印刷機）が、経年劣化のため故障が多発し、すでに保証期間も終了し修理不可のため、使用頻度の高い5号館7階に設置しているオルフィス（印刷機）を更新し、その機種をヘルスプロモーション整復学科教員室に移設しました。

#### コ. 自己点検・評価

学内各部署において令和4年度のアクションプランに基づく活動状況について点検・評価を行い、その結果を自己点検・評価委員会が「関西医療大学中期計画進捗状況・アクションプランの達成状況報告書【2022（令和4）年度】」として取りまとめました。

さらに、令和5年度に大学全体が日本高等教育評価機構による機関別認証評価（第三サイクル）を受審する予定であるため、自己点検・評価委員会において申請手続きを始めとする認証評価受審の諸準備に取り組みました。

#### サ. SD・FD活動等

##### ア) SD活動

文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、私学経営研究会および日本私立大学協会等が実施する外部研修会に事務職員が参加するなど、職員自身が業務の専門性や効率性の向上を目指すように支援し、職員全体の資質の増進に努めました。

また、全教職員を対象としたSD研修会は、以下のとおり開催しました。

##### 第1回（全教職員が受講済み）

研修テーマ：①2022年度の入試状況とマーケット分析について

講師：株式会社リクルート 関西・東海大学事業部 鞍谷早紀 氏

②高校訪問・他大学のオープンキャンパスについて

講師：本学入試・広報課 泉本美由紀

研修方法：オンライン配信（Zoom）

##### 第2回（事務職員22名が受講）

研修テーマ：Excel研修

講師：株式会社PCポート 研修営業部 清水由美 氏 他1名

研修方法：対面形式

##### 第3回（教職員112名が受講／全教職員の受講を目標とし欠席者には受講を案内中）

研修テーマ：①関西医療学園 建学の精神実現のためのグッドサイクルの構築

講師：本学園理事長 武田大輔

②令和4年10月施行 大学設置基準の改正について

講師：本学園理事長補佐 東家一雄

研修方法：対面形式

##### イ) FD活動

前年度に引き続き、大学院を含め、以下の項目を中心にFD活動を行いました。

###### a. 学内外講師による講演会の開催

第1回（教職員103名が受講／当日欠席者は後日動画を視聴）

日 時：令和4年9月3日（土） 14時00分～16時00分

方 法：オンライン講演

講 師：小山 秀幸 先生（特定非営利活動法人 PeerNet 理事長・本学非常勤講師）

演 題：「大学生における文章作成の指導のコツ」

第2回（教職員94名が受講／当日欠席者は後日動画を視聴）

日 時：令和5年2月13日（月） 14時00分～16時00分

方 法：オンライン講演

講 師：狩野 真理 先生（保健看護学科）

演 題：「学生支援における心理学」

#### b. 授業評価アンケートの実施

以下の通り実施しました。

前期中間 6月上旬～7月上旬にかけて実施

後期中間 1月中旬～2月中旬にかけて実施

### シ. 地域貢献・社会貢献・地域連携

#### ア) 公開講座の開催

令和5年2月18日（土）にオンライン配信にて以下のとおり3年ぶりに公開講座を開催いたしました。

講 師：国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所

免疫・感染・アレルギー研究部

室長 森田 英明 先生

演題名：「アレルギー疾患の診断と治療」

対 象：地域住民

#### イ) 熊取町との連携

##### a. 熊取町事業

地元熊取町に対し、各種市民講座への講師派遣、行政への協力のほか、定期的に協議を継続して行いました。また、町からの求めに応じて、以下の通り町内の健康福祉等の事業に協力しました。

- ①「熊取町青少年問題協議会」委員に就任
- ②「熊取町障害支援区分判定審査会」委員に就任
- ③「熊取町保健対策推進協議会」委員に就任
- ④「熊取町国民保護協議会」委員に就任
- ⑤「健康お悩み相談コーナー」開設
- ⑥「熊取町防災会議」委員に就任
- ⑦「熊取町交通事故をなくす運動」推進本部 理事に就任
- ⑧「熊取町献血推進協議会」委員に就任
- ⑨「熊取ゆうゆう大学 大学連携講座」「町民文化祭」「環境美化強調月間・路上喫煙禁止街頭啓発キャンペーン」等の町イベントへの協力

#### ウ) 国際協力機構からの研修生の受け入れ

令和4年度に新設された教育研究・学修支援センターに国際交流部門を設置して、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、独立行政法人国際協力機構（JICA）と都度調整を重ねた結果、日系研修員受入事業の「鍼灸学」コースの研修生受け入れを以下のとおり行いました。



- ・研修コース名：2022年度日系社会研修「個別短期：鍼灸学」コース
- ・技術研修期間：2022年10月4日～2022年12月6日
- ・受入研修員数：1名（男性・ブラジル）

#### イ) 関西鍼灸系大学間連携協議会における連携

平成28年度より関西の鍼灸系学科を設置する4大学で標記協議会を組織しています。令和3年度の連携については、昨年度に続きコロナ禍の状況を鑑みての連携となりました。また、平成29年度より開催していた4大学合同での就職説明会については、コロナ禍により令和2・3年度は中止しましたが、令和4年度については、協議を重ねた結果、6月にオンラインにより開催しました。なお、令和5年度は協議の結果、休止することとしました。

#### ス. IR (Institutional Research) 活動への取組み

学長の指示のもと、IR推進室が中心となり、GPA (Grade Point Average 各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の総合的な成績評価値) 等を利用したデータを作成し、本学における教育・研究および業務運営の向上に資する学内の情報を分析して、退学者、休学者を減らすための対策をはじめ、学内における協議や検討に有益となる情報発信を行う取り組みを強化しました。

#### セ. アクションプランの策定

建学の精神を具現化し、優れた医療人を社会に送り出すため、教育の方法と仕組みおよび教育環境について、不断の点検と改善の取り組みを行っています。これを計画的に実行していくために、令和4年度も中期計画に基づく5か年のアクションプランを策定し、各プランを担当する学科、部署、組織等において計画を推進しました。

#### ソ. 高等教育の修学支援新制度への対応

令和2年4月から本学は、高等教育修学支援新制度の対象機関として認定され、引き続き対象機関となるための確認申請を令和4年6月に行った結果、対象校として更新されたことが8月31日に公表されました。

#### タ. 教員の教育面における評価

教員の諸活動への支援と啓発ならびに本学の教育研究活動の改善と質の向上を図ることを目的として、教員の教育面について評価を行うしくみを令和元年度に整備しました。

令和4年度も前期・後期の授業期間終了時に、学生による「授業評価／満足度評価アンケート」をFD推進委員会と教員評価委員会が共同で実施し、教員の教育面における評価を行う取り組みを継続して行いました。

また、例年実施している「教員活動に係る自己評価調査票」による調査では、「教育」「研究」「大学運営」「社会貢献」「診療」の5領域について専任教員が自己点検・評価を行いました。令和3年度の活動を対象とする調査では、全ての専任教員から提出された調査票を教員評価委員会に取りまとめ、昨年6月に学長へ報告しました。なお、令和4年度の活動を対象とする調査票は、現在、専任教員が作成中です。

#### チ. 大学開学20周年記念事業

本学は、平成15年に関西鍼灸大学を開学し、令和5年4月に大学開学20周年を迎えるにあたり、令和5年3月25日（土）に大学内で記念パーティーを挙行了しました。熊取町長、近隣の大学及び実習施設等の関係者、理事・評議員を招待し、建学の精神及び本学の使命・目的等をあらためて共有する機会となりました。

また、20周年事業として、学生・教職員の憩いの場となるよう4号館前に記念花壇を設置、さらに学生が学外実習で使用できるようにオリジナルバッグの作成、その他にも本学のアピールになるよう独自のノベルティグッズを作成し配布しました。

### 3. 大学附属保健医療施設

本学附属保健医療施設は、大学の臨床教育機関として、また、地域の保健医療機関として重要な役割を果たしています。

令和4年度も引き続き、附属保健医療施設全体で基本理念・行動指針に基づいた患者ニーズに沿った診療・治療体制の確立、介護保険事業の通所リハビリテーションと附属保健医療施設として日常的な医療機関の連携の確立をめざしました。

#### (1) 附属診療所の運営

附属診療所は、通所リハビリテーションの実施により、維持期リハビリテーション体制の構築を鑑み、リハビリテーション対策会議を毎月開催しました。

学生の臨床実習においては、当診療所で医療・介護ともに実施環境下であり、介護保険事業参入により利用者数の増加に努めました。

しかし、新型コロナウイルスのオミクロン株が感染拡大の影響により患者数が減少しておりますが、感染対策を強化し、今後の社会情勢を鑑み対応しました。

また、地域および地域基幹病院と連携強化を図り、当診療所として持っている特有の機能を十分発揮し、紹介や逆紹介、近隣開業医からのMRI・CT撮影の外部オーダー増件等、その役割を有効利用し、地域医療の貢献、患者数増に努めました。

#### (2) 附属鍼灸治療所の運営

附属鍼灸治療所は、コロナ禍において、当鍼灸治療所独自の新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを策定し、患者様およびスタッフが安全に安心して施術を受けてもらえるよう、当鍼灸治療所内の消毒を徹底し、施術者および実習学生は、ワクチン接種を受け、感染対策を強化しながら外部PR活動に努め、患者増を図りました。

前年度に引き続き、若年層患者の増患を目的としてWebおよびSNSを中心としたマルチメディアにおける広報活動に取り組みました。

また、当鍼灸治療所は、公益社団法人 全日本鍼灸学会指定研修施設となりました。

#### (3) 附属接骨院の運営

附属接骨院は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Web予約システムを導入し、完全予約制として患者を密にならないように分散させて患者数の調整を行いました。

また、ベッド数を減らして患者様や施術者間の距離の確保や、患者様と施術者の施術前の検温や体調チェックや消毒と換気等の感染防止対策を徹底し、当接骨院内での施術、運動指導、アロマセラピー施術の充実・強化し、附属診療所・附属鍼灸治療所と連携することによって患者数の増加を図りました。

外部へのPR活動と地域での健康増進活動の一環として月1回を目途に開催していた運動教室（こことレ）については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止しておりましたが、感染状況や社会の情勢を鑑みて、実施可能な状況と判断し、受講者を30名限定で12月3日（土）再開し、積極的に地域医療や健康への貢献に寄与できるように取り組みました。

#### (4) 危機管理体制の充実・強化

毎月、感染対策委員会・医療安全管理委員会を開催しており、また、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、ICT (=Infection Control Team: 感染対策チーム) 会議を開催し、今年度も感染対策、医療安全に強化・充実に努めました。

#### (5) 広報活動の推進

令和4年度も引き続き、広報活動の費用対効果を考慮し、附属保健医療施設として効果のある広告へとシフトしてより認知度を図りました。

- ア. 地域情報誌等へのPR
- イ. 近隣ボランティア活動の会と交流、地域住民へのPR
- ウ. 運動教室・公開講座参加者等へのPR
- エ. 地域医療機関および居宅介護事業所との連携
- オ. 介護支援事業者等へのリーフレットPR
- カ. Facebook、LINE、Instagram等のWebによるPR

### 4. 専門学校

#### (1) 令和4年度における養成教育について

##### ア. 新型コロナウイルス感染症対策と教育活動

コロナ禍が継続するなかにおいて、校内における感染対策に努めるとともに、生徒に対する感染症教育と指導の徹底を図りました。授業の実施については、陽性者があった学級については遠隔授業に切り替えるなど適時対応し、行事については、入学式はを校外(大阪国際交流センター)で開催しました。また、校外における臨床実習についても、感染防止を徹底したうえで可能な限り実施することができるよう調整しました。

##### イ. 将来構想の検討

本年度から歯科衛生学科(入学定員女子50名)を設置し、本専門学校が設置する学科は昼間部5学科となりました。今後の将来構想につきましては、学生募集において入学定員が欠員となっている柔道整復学科及び東洋医療鍼灸学科の再編方針を定め、これに基づき次年度から段階的に対応を進めることとしました。

##### ウ. 自己点検・評価について

自己点検・評価委員会において、令和3年度の評価をまとめ、報告書をホームページで公表しました。この資料として実施した生徒による授業満足度評価は、校内に掲出するとともに、科目担当教員に対しフィードバックを行いました。

##### エ. 学校関係者評価について

自己点検評価の結果を踏まえ、今後の養成教育の課題対応に反映させるため、学外委員で構成する学校関係者委員会を学科ごとに開催しました。このほか、職業実践専門課程の柔道整復学科、東洋医療学科及び東洋医療鍼灸学科では教育課程編成委員会を開催して、同じく学外委員から意見をいただきました。

##### オ. FD・SD研修等について

###### ア) 人権啓発研修(全校研修)

「ハラスメントの防止について」(令和4年7月2日)

#### イ) 理学療法学科研修

「Google classroomを使用した授業について(基礎)」(令和4年6月4日)

「Google classroomを使用した授業について(応用)」(令和5年3月13日)

#### ウ) 歯科衛生学科研修

「タブレットを用いた授業方法の現状と可能性」(令和4年8月20日)

#### エ) 柔道整復学科研修

「Googleの一般的な使い方について」(令和4年8月3日)

#### オ) 東洋医療(鍼灸)学科研修

「キャンパスホースの使用方法について」(令和4年12月17日)

#### カ) 専任教員資格講習

歯科衛生士専任教員講習Ⅱ(令和4年8月1日～5日)

歯科衛生士専任教員講習Ⅳ(令和4年8月22日～26日)

歯科衛生士専任教員講習Ⅴ(令和4年11月12日～13日)

#### キ) 学校協会教員研修

東洋療法学校協会教員研修会(令和4年8月18日～19日)

柔道整復学校協会教員研修会(令和4年9月18日～19日)

全国リハビリテーション学校協会教員研修会(令和4年10月29日～30日)

全国リハビリテーション学校協会研修「合理的配慮が必要な学生への支援について」  
(令和5年2月オンデマンド)

近畿リハビリテーション学校協議会研修「学校ハラスメント」(令和5年3月22日)

#### ク) 事務職初任者研修

学園組織・諸規程、文書管理、養成所、奨学事務・教育訓練給付事務、営繕・施設管理、会計・  
出納事務、図書室事務・図書管理、入試・広報事務、校友会組織(令和4年7月～10月)

#### ケ) 教育講演会(令和4年4月10日入学式後に実施)

「人生を成功へ導く人間力」(坂東弘康先生(一般財団法人日本教育推進財団会長))

#### コ) 臨床研修等

各学科専任教員は、医療提供施設及び教育機関等で臨床研修、研究活動を行い、養成教育に還元できるよう努めました。

### カ. 学生に対する支援

#### ア) 高等教育修学支援新制度

新設の歯科衛生学科を含め、対象校の機関要件について確認更新を行い、認定を受けました。

#### イ) 経済的支援

##### ア. 特待生

学業成績が優秀で学校生活において他の模範となった在校生及び入学試験において成績が優秀であった新入生について、次のとおり授業料の減免を行いました。

東洋医療学科 2年3名、3年1名

東洋医療鍼灸学科 2年2名、3年2名

柔道整復学科 2年1名、3年2名

理学療法学科 2年4名、3年4名

##### イ. 柔道給付奨学金

柔道部活動支援のため、柔道A0入学者について、審査のうえ柔道奨学金を2名(各20万円)に給付しました。

#### ウ) 教育訓練給付金制度

教育訓練給付金制度に係る指定講座（東洋医療学科及び東洋医療鍼灸学科）について、所定の報告手続を行いました。

#### エ) 実習教育支援

理学療法学科では、臨床実習教育の質の向上を目的として、適切な実習指導が可能な施設と指導者を確保するため、本校主催による臨床実習指導者資格の講習会を開催しました。（令和4年8月27日・28日）

#### オ) 保護者懇談会の開催

理学療法学科及び歯科衛生学科は、本校の教育方針と指導内容について、保護者との意思疎通を図る目的で、入学式終了後に保護者懇談会を開催しました。（令和4年4月9日）

#### カ) 学務事務基幹業務システムの運用

生徒の利便性と事務処理の効率化を目的として導入した学務事務基幹業務システムについて、細部について業者と調整を行い、段階的な運用を始めました。

#### キ) 就職支援

生徒の希望と適性を考慮した就職支援を行うため、ガイダンス及び個人面談の実施のほか、履歴書・小論文の添削および模擬面接を実施しました。

令和4年度卒業生の就職内定状況は次のとおりです。（進学は本校を含む医療系専門学校等への進学者を示します。）

##### a. 東洋医療学科・東洋医療鍼灸学科

卒業生数	就 職				進 学	そ の 他
	病 院 診 療 所	施 術 所	開 業	そ の 他		
45名	1名	35名	2名	3名	0名	4名

##### b. 柔道整復学科

卒業生数	就 職				進 学	そ の 他
	病 院 診 療 所	施 術 所	開 業	そ の 他		
22名	0名	11名	1名	3名	4名	3名

##### c. 理学療法学科

卒業生数	就 職				進 学	そ の 他
	病 院	診 療 所	介護老健 介護医療院	障 害 児 入所施設		
26名	22名	2名	0名	2名		0名

#### キ. 生徒募集

生徒募集について、学科ごとに特長を明確にした広報活動を行い、オープンキャンパスの開催、コロナ禍が継続している状況を考慮したWebによる入学相談会を実施して、参加者の満足度の向上と入学試験出願につながるよう努めました。理学療法学科及び歯科衛生学科では、高等学校進路指導教諭を対象とした進路担当者懇談会を開催しました。

このほか、広報企画推進プロジェクトチームにより、SNS 対応など専門学校全体の認知度、好感度の向上を図るため、新たな視点をもった企画・提案に取り組みました。

令和4年度開催のオープンキャンパスの参加者数は下記のとおりです。

(単位：人)

	東洋医療(鍼灸)学科	柔道整復学科	理学療法学科	歯科衛生学科	合計
4月度	11(+ 5)	1(- 1)		6	18(+ 4)
5月度	10(- 4)	2(- 3)		21	33(- 7)
6月度	27(- 3)	7(- 4)	40(+ 6)	14	88(- 1)
7月度	22(+ 7)	15(+12)	17(-13)	18	72(+ 6)
8月度	15(- 4)	4(- 6)	30(+14)	19(+15)	68(+19)
9月度	7(- 6)	6(- 3)			13(- 9)
3月度	12(+ 6)	3(- 1)	27(+ 8)	26(+15)	68(+28)
合計	104(+ 1)	38(- 6)	114(+15)	104(+30)	360(+40)

※参加者数は同伴者を除く人数

## (2) 行政庁への申請・届出等

### ア. 学則の変更等（厚生労働大臣・文部科学大臣・大阪府知事）

- ア) 夜間部養成施設（東洋医療鍼灸学科・柔道整復学科）の認定・指定の取消し申請
- イ) 夜間部廃止に伴う併設学科の学則変更の届け出
- ウ) 歯科衛生学科設置に伴う専修学校目的変更申請
- エ) 夜間部学科廃止に伴う職業実践専門課程の当該学科の廃止届
- オ) 夜間部学科廃止に伴う専門士の称号付与に係る当該学科の廃止届
- カ) 歯科衛生学科臨床実習施設の追加に係る変更承認申請

### イ. 専修学校校地に係る固定資産税の免除（大阪市阿倍野市税事務所）

新館校舎の校地について、固定資産税の免除に係る実地確認を受けました。

## (3) 教育環境・施設設備の整備

### ア. 施設設備の管理

学園中期計画に基づき、本館教室の空調機更新、普通教室の机・椅子の新調及びその他施設整備の修繕と維持管理を行うとともに、省エネルギーの啓発と校舎内の節電に努めました。

### イ. 駐輪・駐車場の確保

前々年度から借用している住吉区菟田の駐車場について、賃貸契約を更新しました。

### ウ. 消防設備の点検

全校舎について、大阪市住吉消防署による消防設備の実施検査を受けました。

## 5. 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

### (1) 大学・大学院の中期計画

関西医療大学は、建学の精神を具現化し、学則に掲げた使命・目的を達成するため、「大学の使命」「教育」「学生支援」「研究」「管理運営」「地域連携」「内部質保証」の7つの領域を柱とする5か年の中期計画を策定しています。それぞれの領域の中には大目標と小目標を体系的に掲げ、単年度の具体的な行動計画としてアクションプランを策定し、教職員が一丸となって目標の達成に努めています。

#### ア. 「大学の使命」に関する中期計画

学則に掲げた使命・目的を達成して社会の要請にこたえていくため、学長のリーダーシップのもとに大学のガバナンス体制の強化を図り、本学が掲げるカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）に沿った一貫性ある教養教育と専門教育を体系的かつ組織的に実践し、さらに、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に掲げる資質と能力を身につけた医療人を育成して、地域医療の発展に貢献することを目指しています。

令和4年度は、この領域に大目標2件、小目標3件、アクションプラン4件を策定し、学長が大学の意思決定を行うための大学運営会議の位置づけを学則に明示して大学の教学運営に関するガバナンス体制を強化するなどの計画を実行しました。

#### イ. 「教育」に関する中期計画

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成30年11月26日中央教育審議会答申）の中心的課題として掲げられた「学修者本位の教育の実現」に向けた教育改革を推進するため、教学マネジメント体制を確立させて学生の学修成果と教員の教育成果を的確に把握して可視化するしくみを構築し、学生が快適な教育環境の中で自律的な学修力を身につけ、質の高い医療人として成長することができる教育システムの強化を図っています。

令和4年度は、この領域に大目標3件、小目標5件、アクションプラン9件を策定し、令和2年度から続くコロナ禍で生じた教育への影響を修正しつつ、適切な教育環境の整備を推進し、より高い学修成果と教育効果を得るための計画を実行しました。

#### ウ. 「学生支援」に関する中期計画

学生が有意義で満足度の高い学生生活を送りながら、社会的・職業的自立に向けて必要となる一般教養、専門知識、技能、態度を身につけた人格を形成し、個々が目指す医療資格等を取得して卒業後に社会の一員として活躍する姿を実現できるよう、教職員が一体となった教職協働体制の下で学生が主体的に学修を行うための教育支援、学生生活の充実に関する支援、キャリア形成と就職・進学に関する支援等の取組みの強化を図り、それらの成果の向上を目指しています。

令和4年度は、この領域に大目標3件、小目標5件、アクションプラン12件を策定し、医療系国家資格の取得と就職の成果を最大化するための計画を実行しました。

#### エ. 「研究」に関する中期計画

研究者としての教員が、研究倫理とコンプライアンスに対する高い意識を持ち、研究に専念できる健全で公正な研究環境と研究体制を整備すると共に、得られた成果を学部・大学院の教育に還元し、学内の研究活動と教育の接続を強化することを目指しています。また、現在、学部・学科横断的に組織している研究ユニットの特性を活かした自由な研究体制のもと、競争的資金の一層の獲得を目指し、独創的な研究活動を活性化しています。

令和4年度は、この領域に大目標2件、小目標5件、アクションプラン8件を策定し、大学院

研究科における教育研究を発展させるための博士後期課程の設置申請を行うなどの計画を実行しました。

#### オ.「管理運営」に関する中期計画

安定した財務基盤に基づいた大学経営を行うため、本学の志願者募集力の強化を図り、各学部・学科において定員を適正に充足する入学生の確保と入学後の収容定員の維持に努めています。また、大学の管理運営の業務担当者である事務職員が適切な職場環境の中で、個々の資質と能力の向上を目指すための支援を推進しています。さらに、キャンパスの安心、安全な環境を保つため、自然災害発生等のリスクに備える体制や個人情報保護の体制の一層の強化を図っています。

令和4年度は、この領域に大目標3件、小目標7件、アクションプラン12件を策定し、入学定員の充足を図る取組みを強化して財政基盤を安定させるための計画や教職員によるSD活動を推進する取組みに関する計画などを実行しました。

#### カ.「社会貢献」に関する中期計画

大学は、社会に開かれた存在として地域と連携して地域住民の理解を得ることで存続し発展できるという観点から、本学における教育研究成果の一端を地域社会及び地域住民に還元することにより、地域に密着した大学として地域社会のより一層の発展に貢献していくことを目指しています。

令和4年度は、この領域に大目標2件、小目標3件、アクションプラン4件を策定し、コロナ禍のため中止を余儀なくされていた公開講座を再開するなどの計画を実行しました。

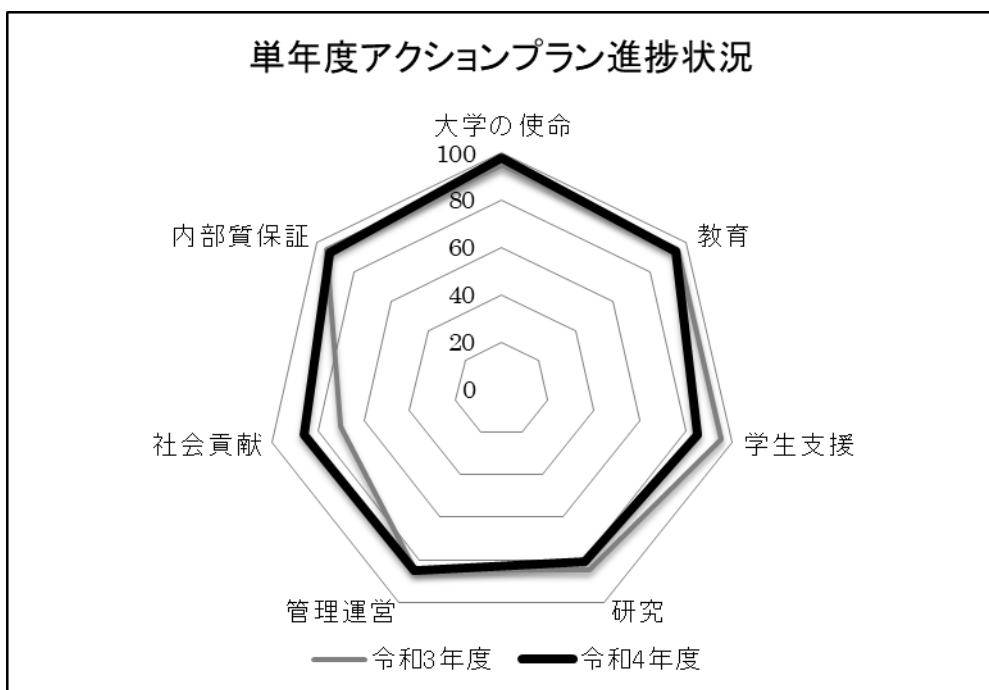
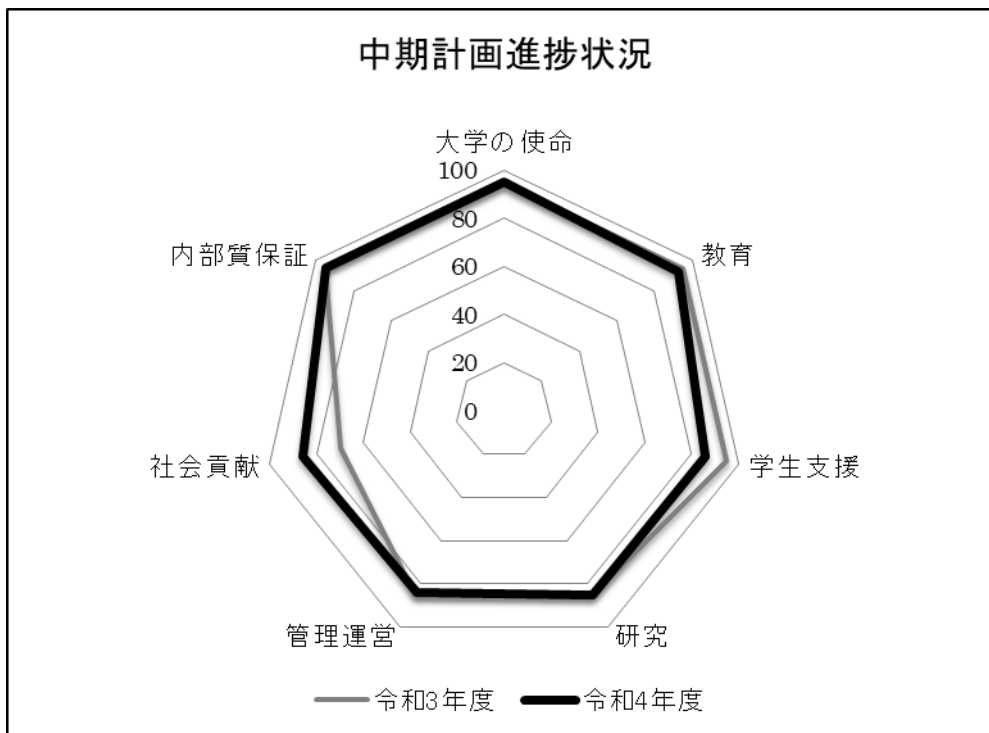
#### キ.「内部質保証」に関する中期計画

本学の学部、学科、各種委員会及び事務の各部署等の学内組織による中期計画の目標達成に向けた取組みについて、活動の進捗状況と成果に関する自主的かつ定期的な点検・評価を行い、学内の組織単位におけるPDCAを自律的に機能させています。また、第三者機構による認証評価を定期的に受審して適合認定を受けることを目指しています。大学は、このような内部質保証の取組みを推進し、大学全体としての使命と目的を達成できる教育水準を維持することで高等教育機関としての社会的責任を果たしていきます。

令和4年度は、この領域に大目標1件、小目標2件、アクションプラン3件を策定し、自己点検・評価と改善の取組みの推進及び令和5年度に受審する大学機関別認証評価に向けた準備などに関する計画を実行しました。


















































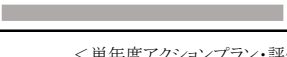



(2) 大学・大学院の中期計画及び単年度アクションプラン進捗状況（レーダーチャート）



(3) 大学・大学院の中期計画（領域・目標）進捗状況（前年度比較）

領域		5か年中期計画 進捗状況評価						単年度アクションプラン 達成状況評価													
		0	50	60	70	80	90	100%	0	50	60	70	80	90	100%						
1. 大学の使命	(上段: 令和4年度)							A							A						
	(下段: 令和3年度)							A							A						
2. 教育								A							A						
3. 学生支援								B							B						
4. 研究								B							B						
5. 管理運営								B							B						
6. 社会貢献								B							B						
7. 内部質保証								A							A						
7. 内部質保証								A							A						
領域	大目標	0	50	60	70	80	90	100%	0	50	60	70	80	90	100%						
1	1. 大学の使命と目的の達成							A							A						
	2. 3つのポリシーの実質化							A							A						
2	1. 教育改革の推進							A							A						
	2. 教育環境の整備							B							B						
	3. 教学情報の発信							A							A						
3	1. 学修支援の取組みの強化							A							A						
	2. 学生生活支援の取組みの強化							C							C						
	3. キャリア支援の取組みの強化							A							A						
4	1. 研究活動の支援の強化							A							B						
	2. 大学院の充実							B							B						
5	1. 財政基盤の安定化							B							B						
	2. 職員の資質と能力の向上							B							B						
	3. 危機管理の強化							B							B						
6	1. 地域連携・地域貢献の推進							C							C						
	2. 附属保健医療施設の改革							A							A						
7	1. 内部質保証の強化							A							A						
領域	大目標	小目標						0	50	60	70	80	90	100%	0	50	60	70	80	90	100%
1	1	1. 建学の精神の周知を図る							A							S					
		2. ガバナンス体制の強化を図る							A							A					
	2	1. 教学マネジメント体制を確立する							A							A					

2	1	1. 学生の学修成果を把握して可視化する	 A S	 A S
		2. 教育の質を向上させる	 A A	 A A
	2	1. 施設・設備を適切に管理する	 B C	 A C
		2. キャンパスの教育環境を充実させる	 A A	 A A
	3	1. 教学IR機能を確立する	 A A	 A A
	3	1	1. 学生の自律的な学修力を高める	 A B
2. 各種資格等を取得する支援を推進する			 B B	 B C
3. DXを目指した学修プログラムを構築する			 A (なし)	 A (なし)
2		1. 退学者・休学者等を減少させる	 C D	 C D
3		1. 学生のキャリア支援を推進する	 A A	 A A
4		1	1. 適正な研究活動を支援する	 A A
	2. 特殊医療分野に関する研究体制を構築する		 B A	 C A
	2	1. 学部教育への還元を図る	 C C	 C C
		2. リカレント教育を充実させる	 C B	 C B
	3	3. 大学院博士後期課程を設置する	 S (なし)	 S (なし)
	5	1	1. 入学志願者を確保する	 A A
2. 安定した財務基盤を維持する			 C C	 C C
3. 外部資金獲得の取組みを強化する			 A C	 S C
2		1. 職員の業務能力の向上を図る	 A A	 A A
		2. 事務の業務の適正化を図る	 C C	 C C
3		1. 危機管理体制を強化する	 C C	 C C
	2. 個人情報を適切に管理する	 A A	 A A	
6	1	1. 地域社会との連携を推進する	 C C	 C C
		2. 地域住民との交流を推進する	 B C	 B C
	2	1. 附属保健医療施設の運営を改革する	 A S	 A A
7	1	1. 内部質保証システムを確立する	 A A	 A A
		2. 第三者機関による認証評価を受審する	 A A	 A A

<5か年中期計画・評価基準>









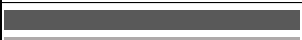










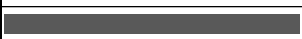

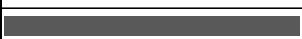






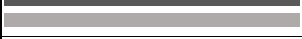




















S評価: 特筆すべき進捗状況にある。(100%以上)  
A評価: 順調な進捗状況にある。(90~99%)  
B評価: 概ね順調な進捗状況にある。(80~89%)  
C評価: 進捗がやや遅れており改善の必要がある。(60~79%)  
D評価: 進捗が著しく遅れており大幅な改善が必要である。(60%未満)

<単年度アクションプラン・評価基準>

S評価: 計画を大幅に上回って達成している。(100%以上)  
A評価: 計画を達成している。(90~99%)  
B評価: 計画を概ね達成している。(80~89%)  
C評価: 計画をやや下回っており改善の必要がある。(60~79%)  
D評価: 計画を大幅に下回っており大幅な改善の必要がある。(60%未満)

(4) 大学・大学院の単年度アクションプラン達成状況 (前年度比較)

領域	大目標	小目標	アクションプラン		単年度アクションプラン 達成状況評価						
					0	50	60	70	80	90	100%
1	1	1	1111	建学の精神を学内外に浸透させる (上段:令和4年度) (下段:令和3年度)							S
		2	1121	大学の意思決定のしきみを強化する							A
	2	1	1211	教学マネジメントのしきみを構築する							A
			1212	3つのポリシーに基づく教育課程編成の点検をする							S
2	1	2	2111	学修成果の把握と可視化のしきみを確立する							A
			2121	教員の教育成果の把握と授業改善を推進する							A
			2122	ICTを活用した教育方法の導入を検討する							A
	2	1	2211	施設・設備の修繕・改装等を行う							A
			2212	節電・省エネ対策を推進する							B
		2	2221	図書館の機能拡充を推進する							A
			2222	図書館の蔵書管理計画を策定する							A
	2223		ICT教育を行う環境を構築する							B	
	3	1	2311	教学IRデータの収集・分析力を高める							A
	3	1	1	3111.1	学生の学修行動の実態を把握する(保健看護学科)						
3111.2				学生の学修行動の実態を把握する(理学療法学科)							A
3111.3				学生の学修行動の実態を把握する(作業療法学科)							A
3111.4				学生の学修行動の実態を把握する(臨床検査学科)							A
3111.5				学生の学修行動の実態を把握する(はり灸・スポーツトレーナー学科)							A
3111.6				学生の学修行動の実態を把握する(ヘルスプロモーション整備学科)							A
3112				入学前教育を充実させる							A
3113				学部、学科間の教育交流を推進する							C
3114				リメディアル教育を充実させる							A
3115				教育研究・学修支援センターを設置する							A
2		2	3121.1	医療資格の国家試験合格者を向上させる(保健看護学科)							B
			3121.2	医療資格の国家試験合格者を向上させる(理学療法学科)							B
			3121.3	医療資格の国家試験合格者を向上させる(作業療法学科)							S
			3121.4	医療資格の国家試験合格者を向上させる(臨床検査学科)							S
			3121.5	医療資格の国家試験合格者を向上させる(はり灸・スポーツトレーナー学科)							A
			3121.6	医療資格の国家試験合格者を向上させる(ヘルスプロモーション整備学科)							B
			3122.1	付加資格の試験合格者を向上させる(臨床検査学科)							C
			3122.2	付加資格の試験合格者を向上させる(はり灸・スポーツトレーナー学科)							D
3122.3		付加資格の試験合格者を向上させる(ヘルスプロモーション整備学科)							A		
3		1	3131	DXを目指した学修プログラムを構築する							(なし)
2	1	3211	退学・休学の予防対策を推進する								C
		3311	キャリア支援イベントを充実させる								A

			3312	学生、大学、求人施設間のネットワークを強化する	 A  A
			3313	医療職以外への就職希望者に対応する	 A  A
4	1	1	4111	研究倫理教育を推進する	 A  A
			4112	研究不正防止コンプライアンスを強化する	 A  S
			4113	競争的資金の獲得を推進する	 A  A
		2	4121	特殊医療分野の研究センターを設置する	 C  A
	2	1	4211	学部教育との接続を強化する	 C  C
			2	4221	リカレント教育の学費軽減を検討する
			4222	リカレント教育の授業形態を検討する	 C  A
		3	4231	大学院博士後期課程を設置する	 S (なし)
5	1	1	5111	募集力強化の取組みを推進する	 B  B
			5112	大学ホームページの訴求力を高める	 A  S
			5113	入試制度を改革する	 A  A
		2	5121	収容定員を適正に維持する	 C  A
		3	5131	寄附金の獲得を推進する	 S  C
		2	1	5211	外部研修会等への参加を推進する
	5212			担当業務に関連する資格取得を推進する	 A  A
	5213			SD活動を推進する	 A  A
	2		5221	労働時間の適正化を推進する	 C  C
	3	1	5311	自然災害への備えを推進する	 C  B
			5312	防災・避難訓練を推進する	 C  C
		2	5321	個人情報の保護体制を強化する	 A  A
	6	1	1	6111	高大連携事業を推進する
6112				地域の大学間連携を推進する	 D  D
2			6121	地域における交流行事を継続する	 B  C
2		1	6211	附属保健医療施設の運営を点検し改革を推進する	 A  S
7	1	1	7111	自律的なPDCAサイクルを機能させる	 A  A
			2	7121	日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審する
			7122	リハビリテーション教育評価機構による評価を受審する	 B  S

<評価基準> S評価:計画を大幅に上回って達成している。(100%以上)

A評価:計画を達成している。(90~99%)

B評価:計画を概ね達成している。(80~89%)

C評価:計画をやや下回っており改善の必要がある。(60~79%)

D評価:計画を大幅に下回っており大幅な改善の必要がある。(60%未満)

## (5) 専門学校の中期計画

関西医療学園専門学校は、医療資格者の養成施設として、建学の精神のもと、質の高い養成教育の提供と時代に対応できる学校運営に取り組むため、「専門学校（養成施設）の使命」「養成教育」「生徒支援」「内部質保証」「管理運営」「将来構想」の6つの領域に関する中期計画を策定しています。

この計画を実践するため、教職員が共通した認識のもと、その遂行に努め、年度毎の自己点検・評価を含めて、必要な改善を早期に行うことができるよう努めています。

### ア. 「専門学校（養成施設）の使命」に関する中期計画

医療資格者を養成する本校は、建学の精神（「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」）に基づき、医療技術を通じて国民の保健衛生に寄与する有為な人材を育成することを目的とすることを学則に掲げ、養成教育の使命と目的を通じて、専修学校及び養成施設として社会に果たす役割を自覚し、有為な人材を輩出することを目指しています。

令和4年度は、この領域に3件の目標を掲げて計画を実行しました。

### イ. 「養成教育」に関する中期計画

「これからの専修学校の振興のあり方について」（文部科学省 平成29年3月28日これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議（報告））で掲げられた3本柱「人材養成（専修学校教育の人材養成機能の向上）」「質保証・向上（専修学校教育の質保証・向上）」「学習環境（学びのセーフティネットの保障）」を踏まえて、高いスキルを備えた医療資格者を養成するため、教育体制の充実、職業実践的教育の強化、学習環境の整備を図っています。

令和4年度は、この領域に3件の目標を掲げて計画を実行しました。

### ウ. 「生徒支援」に関する中期計画

本校では、生徒が安心して学修し、有意義な学校生活が送れるよう教職員全体で支援し、学修面に加え、就職面におけるサポート強化を図ります。

令和4年度は、この領域に5件の目標を掲げて計画を実行しました。

### エ. 「内部質保証」に関する中期計画

本校における学科、各種委員会及び事務組織等の校内組織による中期計画の目標達成に向けた取り組みについて、諸活動の進捗状況と成果に関する点検・評価を行っています。これにより、本校が専修学校及び養成施設としての使命を遂行し、質の高い教育を実践することにより、社会的責任を果たすことを目的としています。

令和4年度は、この領域に2件の目標を掲げて計画を実行しました。

### オ. 「管理運営」に関する中期計画

安定した財務基盤に基づいた学校経営を行うため、積極的かつ効果的な広報戦略により、入学者及び収容定員の確保に努めています。このため、教職員のスキルアップと教育環境の整備及び安全性の確保を図っています。

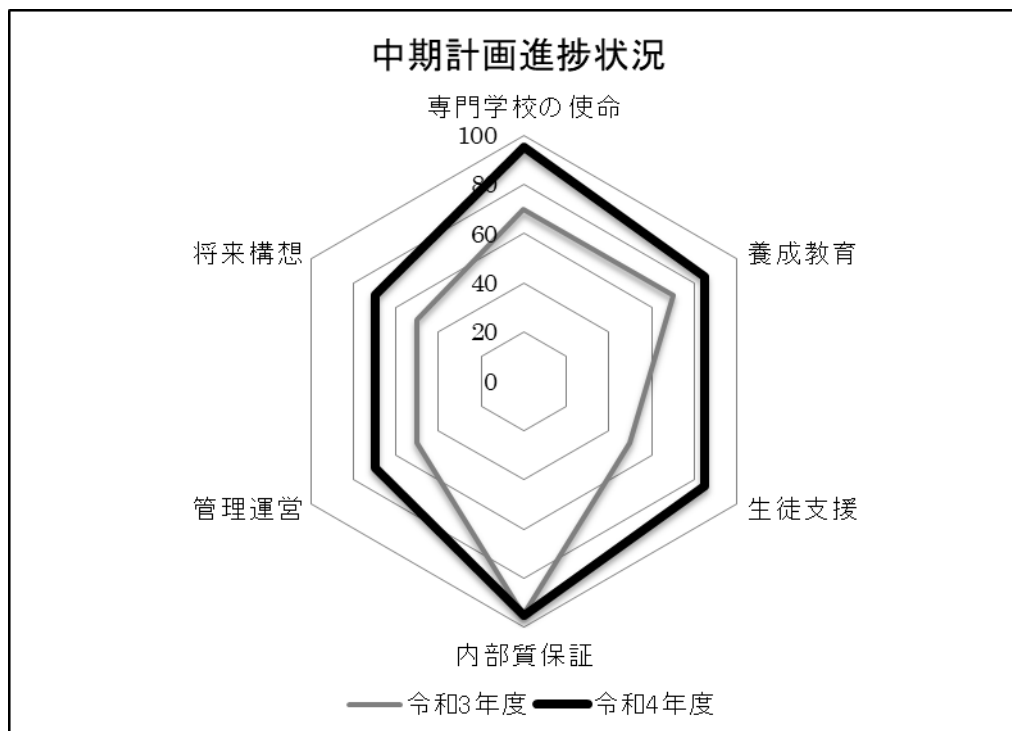
令和4年度は、この領域に4件の目標を掲げて計画を実行しました。

### カ. 「将来構想」に関する中期計画

本校は、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師・理学療法士及び歯科衛生士の養成施設（養成所）ですが、医療資格者を養成する学校・養成施設は、大学・専門職大学・短期大学・専修学校と多様であり、学校数も急増しています。また少子化による18歳人口の減少とコロナ禍が継続するなかにあって経済的環境が厳しいこともあり、各学科とも入学者の確保については大変厳しい状況にあります。

これに対応するため、令和4年度には入学者の確保が見込まれる歯科衛生士の養成課程を設置しました。また既設学科については入学定員の見直し及び学科の再編について検討を行っています。令和4年度は、この領域に2件の目標を掲げて計画を実行しました。

(6) 専門学校の中期計画各領域の進捗状況（レーダーチャート）



ア. 養成施設の使命

建学の精神については全教職員が共通した認識をもって行動することができています。今後は新たな取り組みを行う独創的な創造力が必要です。

イ. 養成教育

コロナ禍にあって、3年にわたりオンライン授業を実施した経験から、教員・生徒双方が概ね遠隔授業に対応出来る状況になっています。今後は ICT 教育の拡大を見据え、非常勤教員を含めた教員側のスキルの向上を図ることが必要です。

ウ. 生徒支援

就職支援として、ガイダンス、個人面談、選考試験対策の実施、外部講師によるスキルアップ講座・マナー講座及び施術者求人合同説明会などを開催しています。今後は全校的なキャリア支援体制を確保することが必要です。

エ. 内部質保証

自己点検を行い、その評価を公表するとともに、2学科については第三者機関による評価を受審しています。今後は全ての学科が外部評価を受審し、ステークホルダーに対して学校・教育活動の内容を可視化し、透明性のある学校運営を行うよう努める必要があります。

オ. 管理運営

令和4年度の教育環境の整備として、本館校舎の空調設備の更新、普通教室の机・椅子の新調を計画的に行いました。令和5年度以降についても年次計画的に施設設備及び什器備品の整備・更新

を行う予定ですが、これに要する経費と学園財政のバランスによっては、計画の見直しを検討することがあります。



#### カ. 将来構想

夜間部 2 学科の廃止より、本校が設置する学科は全て昼間部となりました。令和 4 年度には歯科衛生学科を設置して養成所の指定を受けました。既設学科については入学者及び収容定員の確保を図るため、教育課程の精査及び入学定員の見直しを含めた検討が必要です。





(7) 専門学校の中期計画進捗状況 (前年度比較)



〔領域1〕 専門学校(養成施設)の使命	
目標1	建学の精神を教職員・生徒及び保護者ほかのステークホルダーに周知する
目標2	全教職員が共通した認識をもって行動する
目標3	実践的職業教育を遂行するため、伝統の継承と創造する意欲を以て取り組む

〔領域1〕 進捗状況評価	
	0 50 60 70 80 90 100%
令和4年度	 A
令和3年度	 C



〔領域2〕 養成教育	
目標1	教育体制の充実
目標2	教育環境の整備
目標3	国家試験合格率の向上と維持

〔領域2〕 進捗状況評価	
	0 50 60 70 80 90 100%
令和4年度	 B
令和3年度	 C



〔領域3〕 生徒支援	
目標1	学修支援については、入学前教育を充実させ、生徒が安心して学修することができる環境を確保する
目標2	退学・休学の予防に重点を置き、保護者との緊密な連絡に努める
目標3	就職支援の向上については、求人者と求職者のニーズのマッチングに努め、細かな就職支援を行うことができるようにする
目標4	生徒の資格取得(国家試験合格率)の向上と維持を重点事項として取り組む

〔領域3〕 進捗状況評価	
	0 50 60 70 80 90 100%
令和4年度	 B
令和3年度	 D



〔領域4〕 内部質保証	
目標1	内部質保証に係るシステムを確立する
目標2	第三者評価機関による評価を受審し、その結果を公表する



〔領域4〕 進捗状況評価	
	0 50 60 70 80 90 100%
令和4年度	 A
令和3年度	 A

〔領域5〕 管理運営	
目標1	入学志願者を確保する
目標2	安定した財政基盤の強化
目標3	教職員のスキルアップ
目標4	教育環境の整備

〔領域5〕 進捗状況評価	
	0 50 60 70 80 90 100%
令和4年度	 C
令和3年度	 D

〔領域6〕 将来構想	
目標1	既設学科の再編
目標2	新学科の設置

〔領域2〕 進捗状況評価	
	0 50 60 70 80 90 100%
令和4年度	 C
令和3年度	 D

〔計画全体〕 進捗状況評価	
	0 50 60 70 80 90 100%
令和4年度	 B
令和3年度	 C

<評価基準>

S評価: 計画を大幅に上回って達成している。(100%以上)

A評価: 計画を達成している。(90~99%)

B評価: 計画を概ね達成している。(80~89%)

C評価: 計画をやや下回っており改善の必要がある。(60~79%)

D評価: 計画を大幅に下回っており大幅な改善の必要がある。(60%未満)

## 6. 学生の応募状況

学部、学科（入学定員）			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
関西医療大学	保健医療学部	はり灸・スポーツトレーナー学科（50名）	志願者数	149名	174名	166名	131名	128名	
			入学者数	50名	51名	54名	42名	50名	
		理学療法学科（60名）	志願者数	565名	603名	493名	416名	376名	
			入学者数	65名	65名	66名	65名	67名	
		作業療法学科（40名）	志願者数	296名	329名	264名	185名	186名	
			入学者数	46名	40名	30名	30名	41名	
		ヘルスプロモーション 整備学科（40名）	志願者数	81名	78名	73名	54名	48名	
			入学者数	35名	34名	24名	29名	23名	
		臨床検査学科（60名）	志願者数	607名	602名	474名	472名	289名	
			入学者数	67名	66名	61名	70名	66名	
	保健看護学部	保健看護学科（90名）	志願者数	1,044名	945名	1,081名	771名	576名	
			入学者数	95名	93名	105名	106名	101名	
	小計（340名）			志願者数	2,742名	2,731名	2,551名	2,029名	1603名
				入学者数	358名	349名	340名	342名	348名
	大学院（9名）			志願者数	14名	8名	14名	7名	13名
				入学者数	13名	8名	13名	7名	13名
合計（349名）			志願者数	2,756名	2,739名	2,565名	2,036名	1,616名	
			入学者数	371名	357名	353名	349名	361名	
関西医療学園専門学校	東洋医療学科（30名）		志願者数	52名	83名	95名	72名	49名	
			入学者数	30名	30名	30名	30名	30名	
	東洋医療鍼灸学科	昼（30名）	志願者数	43名	37名	46名	41名	29名	
			入学者数	23名	26名	23名	28名	21名	
		夜（30名） 令和4年3月廃止	志願者数	26名	—	—	—	—	
			入学者数	9名	—	—	—	—	
	柔道整復学科	昼（60名）	志願者数	40名	30名	32名	20名	17名	
			入学者数	35名	28名	29名	18名	15名	
		夜（30名） 令和4年3月廃止	志願者数	17名	—	—	—	—	
			入学者数	4名	—	—	—	—	
	理学療法学科（40名）		志願者数	60名	55名	106名	80名	102名	
			入学者数	40名	41名	40名	40名	40名	
	歯科衛生学科（50名）		志願者数	—	—	—	46名	49名	
			入学者数	—	—	—	38名	42名	
	合計（210名）			志願者数	238名	205名	279名	259名	246名
				入学者数	141名	125名	122名	154名	148名
総計（559名）			志願者数	2,994名	2,944名	2,844名	2,295名	1,862名	
			入学者数	512名	482名	475名	503名	509名	

※大学、専門学校の志願者数は重複志望を含みます。

※大学の集計には第2・3志望の人数を含みます。

同一試験区分において同一日に複数方式を併願した者は一人でカウントしています。

7. 過去3年間の国家試験の合格者状況

学部・学科		年度	資格	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率
関西医療大学	保健医療学部 はり灸・スポーツ トレーナー学科	令和2年度	はり師	43名	39名	39名	100.0%
			きゅう師			39名	100.0%
		令和3年度	はり師	38名	33名	30名	90.9%
			きゅう師			31名	94.0%
		令和4年度	はり師	34名	29名	28名	96.6%
			きゅう師			28名	96.6%
	保健医療学部 理学療法学科	令和2年度	理学療法士	57名	57名	51名	89.5%
		令和3年度		63名	62名	59名	95.2%
		令和4年度		56名	56名	53名	94.6%
	保健医療学部 作業療法学科	令和2年度	作業療法士	—	—	—	—
		令和3年度		33名	33名	28名	84.8%
		令和4年度		40名	40名	40名	100.0%
保健医療学部 ヘルスプロモーション 整復学科	令和2年度	柔道整復師	33名	29名	25名	86.2%	
	令和3年度		34名	31名	26名	83.9%	
	令和4年度		32名	29名	24名	82.8%	
保健医療学部 臨床検査学科	令和2年度	臨床検査技師	47名	47名	47名	100.0%	
	令和3年度		69名	66名	60名	90.9%	
	令和4年度		65名	65名	65名	100.0%	
保健看護学部 保健看護学科	令和2年度	看護師	92名	92名	91名	98.9%	
		保健師			15名	15名	100.0%
		助産師			5名	5名	100.0%
	令和3年度	看護師	102名	102名	102名	100.0%	
		保健師			15名	15名	100.0%
		助産師			4名	4名	100.0%
	令和4年度	看護師	97名	97名	97名	95.9%	
		保健師			15名	15名	100.0%
		助産師			5名	5名	100.0%

学部・学科		年 度	資 格	卒業生数	受験者数	合格者数	合 格 率
関西医療学園専門学校	東洋医療学科	令和2年度	あん摩マッサージ指圧師	30名	29名	27名	93.1%
			はり師			24名	82.8%
			きゅう師			24名	82.8%
		令和3年度	あん摩マッサージ指圧師	26名	26名	24名	92.3%
			はり師			23名	88.5%
			きゅう師			23名	88.5%
		令和4年度	あん摩マッサージ指圧師	26名	25名	25名	100.0%
			はり師			23名	92.0%
			きゅう師			23名	92.0%
	東洋医療鍼灸学科	令和2年度	はり師	26名	26名	25名	96.1%
			きゅう師			26名	100.0%
		令和3年度	はり師	28名	26名	25名	96.2%
			きゅう師			25名	96.2%
		令和4年度	はり師	19名	18名	16名	88.9%
			きゅう師			15名	83.3%
	柔道整復学科	令和2年度	柔道整復師	33名	28名	25名	89.3%
		令和3年度		30名	23名	20名	87.0%
		令和4年度		22名	22名	14名	63.6%
理学療法学科	令和2年度	理学療法士	33名	33名	29名	87.9%	
	令和3年度		35名	30名	28名	93.3%	
	令和4年度		26名	26名	25名	96.2%	